

# ヒメイズイ

*Polygonatum humile*

ユリ科

## 名前の由来

萎蕤（いずい）はアマドコロの漢名で、根を乾燥させたものを指し、漢方では古くから滋養強壮薬として用いられている。アマドコロに似ていて小型であることから名付けられた。  
漢字名：姫萎蕤

## 形態的特徴

高さ15～30cmで、茎は直立し、稜角がある。葉は長楕円形、裏面は淡緑色で脈上とふちに毛状の突起がある。花は淡い緑白色、長さ15～18mmの円筒形で、先は6片に浅く裂け、葉の根元（葉腋）からそれぞれ1個ずつ下向きに垂れ下がってつく。果実は黒く球形に熟す。

## 類似種と見分け方

オオアマドコロ、ワニグチソウ、ホウチャクソウ。

オオアマドコロは全体が大きく、茎も太い。また花は葉腋に2～4個ずつつく。ワニグチソウは花が葉腋に2個ずつつき、花柄には花に覆いかぶさるようにつく2枚の大きな

包葉がある。ホウチャクソウの花は枝頂に1～3個つき、上部で枝を分ける場合もある。



ヒメイズイ



ヒメイズイ



オオアマドコロ。若芽は山菜



ホウチャクソウ。毒草である

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期			■									
結実期				■								

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(草原・樹林)  
鳥類  
ワシ・タカ

## 生育環境・分布

低地～山地の草原・林縁や、海岸近くの砂地に生育する。

**分布：**国外分布は、南千島・朝鮮・樺太・中国東北部・シベリア東部。

国内分布は、北海道と本州中北部、九州。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、低地～山地の草原・林縁や、海岸近くの砂地で見られる。



ヒメイズイの群落

## 生活史

開花時期：6～7月。

寿命：多年草。

開花までの年数：不明。

## 他生物との関わり

花には虫が訪れる。

## 興味深い話

■属名のPolygonatumは、多い[polys]と、膝・節[gonu]に由来し、この属の根茎に多くの節があることに由来している。



ヒメイズイ



ヒメイズイの花

## 配慮事項

生育している環境全体が重要である。

魚類

底生動物

両生虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ

### 参考文献

「改訂版 牧野新日本植物圖鑑」牧野富太郎 北隆館 1989

「図説 花と樹の大事典」木村陽二郎・植物文化研究会・雅麗  
柏書房 1996

「北海道植物図譜」滝田謙謙 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本Ⅰ」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社  
1982